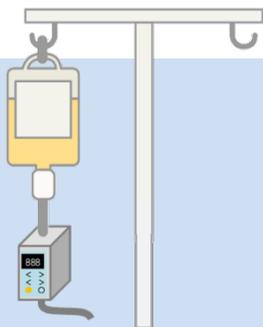
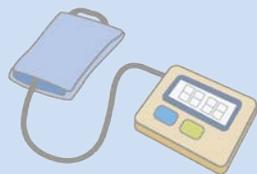




医療機器



- 電磁的耐性^(※)について、薬事法に基づく規制(厚生労働省所管)あり。

※電磁的耐性・・・付近にある電気機器などから発生する電磁波などによって自身の動作が阻害されない能力。

携帯電話等



- 医療機関内での携帯電話等の使用について規制はない。
- 各医療機関において、
 - 左記の医療機器についての規制
 - 不要電波問題対策協議会の指針
 - マナー等の問題を勘案した上で、独自にルールが定められている。

(先進的なルール設定の例: 禁止エリアを手術室・ICU等に限定、通話可能エリアを設定、マナーモードでの使用を許可、等)

■ 近年の携帯電話等及び医療機器の性能向上により、医療機器から一定の距離を確保する等の安全対策等を行うことを前提に、医療機関内においてさらに電波利用機器の活用を推進することが可能であると考えられ、各医療機関においてICT機器の積極的活用が図られることが望ましい。

厚生労働省と協力し、電波環境協議会(下図)において調査の上、新たにガイドラインを作成し、医療機関に周知する。また、国際的な発信を行う。

検討の場の設置

電波環境協議会 (EMCC)

- 電波による電子機器等への障害を防止・除去するための対策を協議する関係機関の協議体

ガイドラインの検討作業部会の設置

- ・ 有識者
- ・ 医療機器業界団体
- ・ 通信業界業界団体
- ・ **総務省**
- ・ **厚生労働省** 等

新たなガイドラインの策定

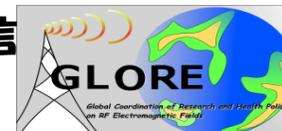
Donec ipsum eros ut euismod ante orci
 luctus et quam decima quinta
 Sed imperdiet molestie wisi sed ullamcorper
 eili nec rhoncus rhoncus sed wisi
 Maris wisi vehicula enim, vitae lobortis est
 sapien ut eros. Curabitur lacinia. Lorem
 ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing
 elit. In hac habitasse platea dictumst.
 Curabitur et tortor at dui venenatis com-
 modo. Aliquam ultrices
 Nam dicit. Aliquam fermentum. Nullam
 convallis ante nec tunc. Aenean tristique
 tristique lacinia. Praesent nunc justo, accu-
 san in, tristique ut, venenatis in, felis.

積極的な周知

◆医療機関等に幅広く周知

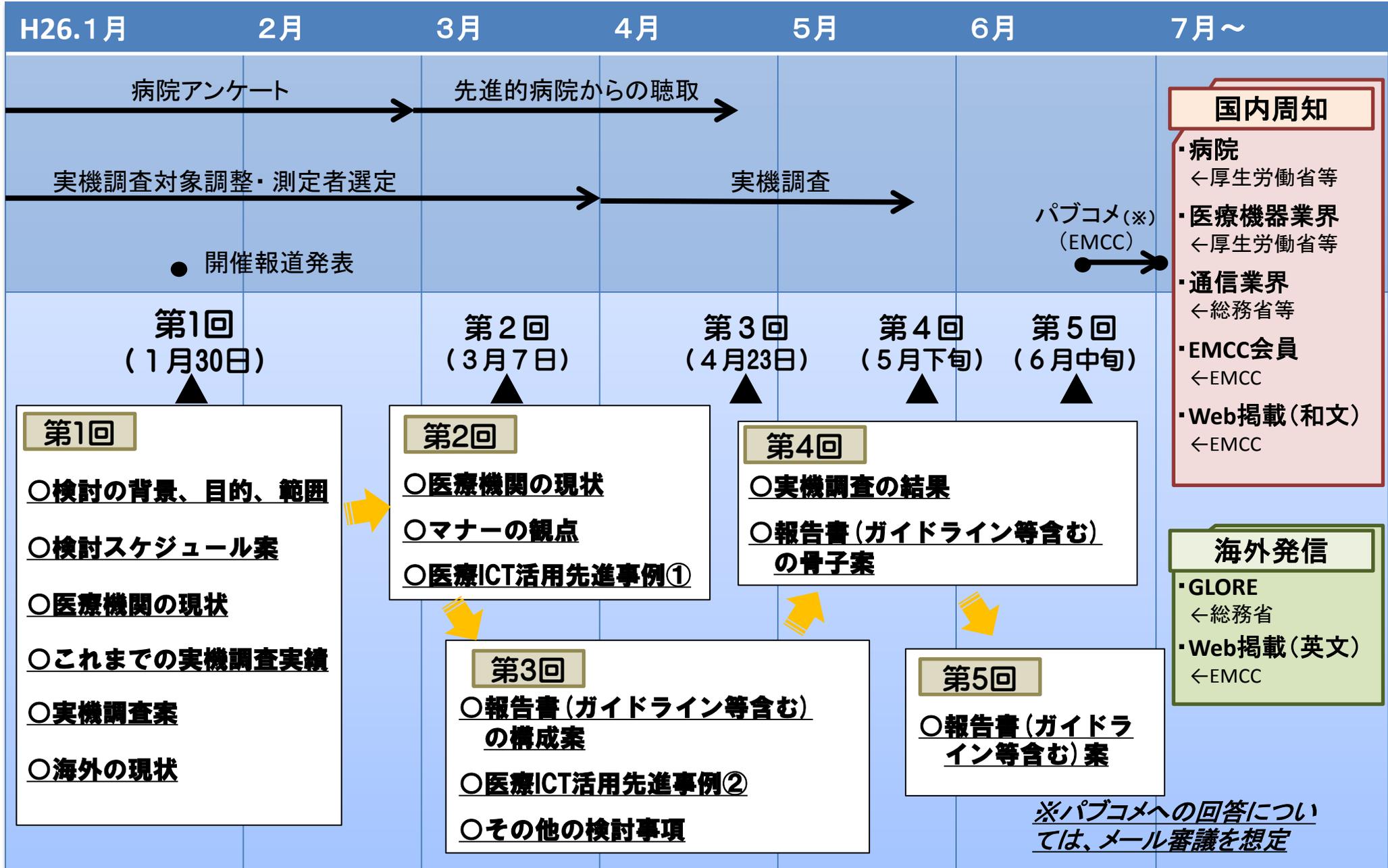


◆国際的な発信



※ 電波の安全性に関し各国の行政官・専門家が年一回意見交換等を行う「電磁界の健康影響に関する国際コーディネイト会合」(GLORE)等を想定

電波環境協議会作業部会の検討スケジュール



		構成員 所属	構成員 氏名
有 識 者	}	埼玉医科大学 保健医療学部 教授	加納 隆 (※座長)
		東京大学医学部附属病院 助教	新 秀直
		(独)情報通信研究機構 電磁波計測研究所 研究マネージャ	石上 忍
		北海道大学大学院 情報科学研究科 特任教授	野島 俊雄
		島根大学 医学部附属病院 医療情報部 副部長	花田 英輔
		北里大学 医療衛生学部 医療工学科 教授	廣瀬 稔
医 療 関 係 団 体	}	(一社)日本病院会 副会長	大道 道大
		(公社)日本医師会 常任理事	石川 広己
		湯河原厚生年金病院 病院長	釘宮 豊城
医 療 機 器 関 係 団 体	}	(一社)日本医療機器産業連合会 EMC分科会主査	武田 裕二
		(一社)日本医療機器工業会	岩井 洋
通 信 事 業 者 ・ 関 係 団 体	}	(株)NTTドコモ 先進技術研究所 主幹研究員	垂澤 芳明
		KDDI(株) 技術企画本部 企画・制度Gリーダー	川西 直毅
		ソフトバンクモバイル(株) 電波部担当部長	百成 卓三
		(一社)電波産業会 専務理事	松井 房樹
関 係 省 庁 等	}	総務省 電波環境課 課長	星 克明
		厚生労働省 安全対策課 課長	森口 裕
		(独)医薬品医療機器総合機構 医療機器審査第一部長	木下 勝美